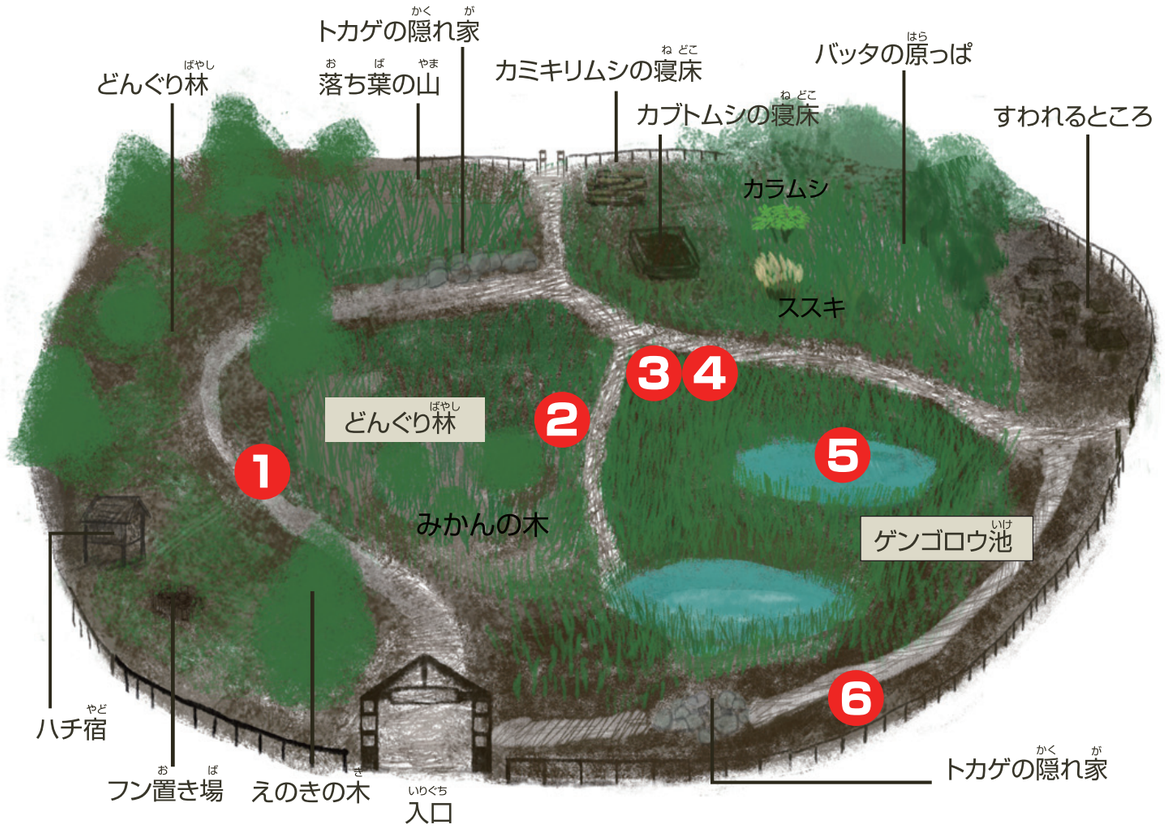
2017.9.17

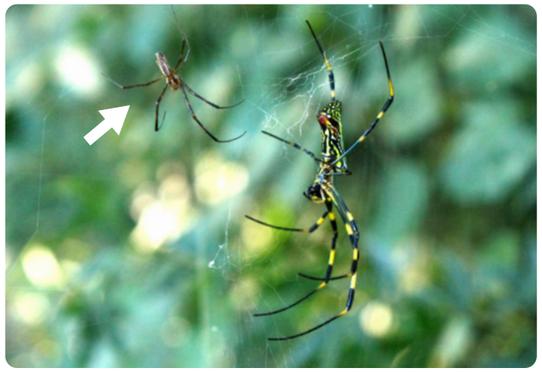
今週の

# いきもの広場

いきもの広場は、動物園の中に作った「近所の自然」です。広場のなかには様々な環境や生き物と出会うための小さなしかけがたくさんあります。9月になり気温が下がってくると、いきものの種類も変わっていきます。秋の花が咲くと、羽のあるいきものが蜜を求めて集まります。




## ❶ ジョロウグモ

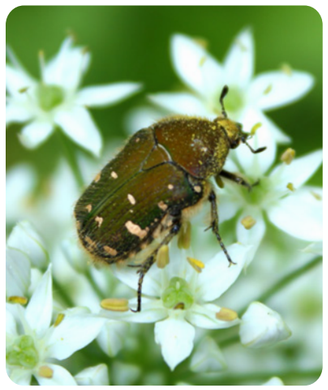


大きな巣が目立つようになりました。春に生まれた個体で、まだまだ成長中です。巣に居候している小さなクモ（矢印）はオス、大きなほうがメスです。

## ❷ キタキチョウの幼虫

ネムノキやハギなど、マメ科の植物の葉を食べます。夏～秋に羽化した個体は、成虫の姿（円）で冬を越し、春に卵を産みます。

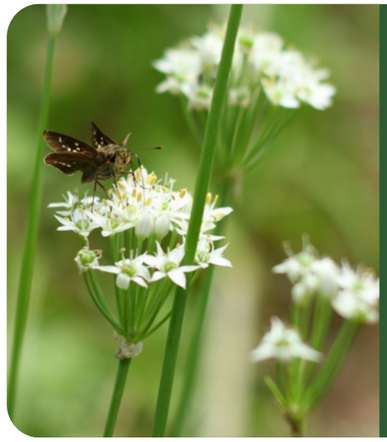
## ❸ コアオハナムグリ



園内ではいきもの広場のニラの花の上でよく見つかります。ハナムグリの名前のとおり、花の中に潜りこむように動き回るためか、体が花粉まみれになっていることが多いです。

## ❹ ヤマトシジミ

ニラの花のつぼみにやってきました。小さくて素早いので印象に残りにくいですが、1年を通してよく見かけるチョウであり、羽の模様もきれいです（右）。



### ニラの花が咲きました！

ニラの花には色んな種類のいきものが集まります。花が咲いている期間は短いので、ぜひ早めにお越しください。

## ❺ オオシオカラトンボのオス

青い体色のオスと黄色のメスがくっついて飛んでいる姿を見かけるようになりました。メスが池に卵を産んでいる間、オスはすぐ近くを飛び回りペアのメスを他のオスから守ります。

## ❻ ダイミョウセセリの幼虫

ヤマノイモなどの、つる植物の葉を食べます。幼虫は巣を作り隠れるため見つかりにくい一方で、成虫（円）は草むらで羽を広げてとまっていることが多く、模様も特徴的なので見つかりやすいです。

「いきもの広場で遊ぼう」 毎週日曜日11:00～12:00　＊開催時間外はお入りいただけません。